

## 令和2年第4回宝達志水町教育委員会会議録要旨

開会日時 令和2年5月12日(火)  
会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室  
出席委員 細江教育長、市村委員、松田委員、大崎委員、近岡委員  
欠席委員 なし  
説明員 岡田学校教育課長、笠松学校教育担当課長、坂井生涯学習課長兼文化財室長

開 会 午前9時30分

(新任の細江教育長及び松田委員が就任の挨拶)

### 1 教育長事務報告

会議資料1ページにより要点報告を行った。

### 2 付議議件

- (1) 議案第12号 宝達志水町教育委員会教育長職務代理者の選任について  
岡田学校教育課長が資料2、3ページに基づき説明し、細江教育長が市村委員を教育長職務代理者に指名をし、承認された。
- (2) 議案第13号 宝達志水町 ICT 教育推進計画(案)について  
岡田学校教育課長が資料に基づき説明し、原案のとおり承認された。

### 3 報告事項

令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について  
岡田学校教育課長が資料に基づき説明し、原案のとおり承認された。

### 4 その他

今後の日程について  
岡田学校教育課長が今後の日程について説明を行った。

(委員の意見等)

質問	大崎委員（教育長事務報告について） ○臨時校長会では児童、生徒の様子について、どのような報告があったのか。
回答	細江教育長 ○各家庭に電話をかけ生活の様子、課題の進み具合の聞き取りを行い、配布した DVD の視聴環境等の確認及び対応を行った。
質問	市村委員（宝達志水町 ICT 教育推進計画（案）について） ○端末装置は石川県公立学校情報機器共同調達協議会による一括購入となっているが、石川県統一の機種となるのか。
回答	岡田学校教育課長 ○自治体によって違う機種となる。本町では、現在、石川県立高等学校で使用されている汎用性のある端末装置を考えている。
質問	大崎委員（宝達志水町 ICT 教育推進計画（案）について） ○今年度中の購入予定となっているが、予算の要求はいつ頃になるのか。
回答	岡田学校教育課長 ○6月補正で LAN 環境整備工事費と端末装置購入費の計上を考えている。全国的な推進のため端末装置の調達は石川県公立学校情報機器共同調達協議会と相談しながら進めていきたい。
質問	松田委員（宝達志水町 ICT 教育推進計画（案）について） ○今回はハード面だがソフト面はどのように進めていくのか。
回答	岡田学校教育課長 ○基本パッケージは現在石川県立高等学校で使用されているソフトとなる。文書機能、計算機能以外に町独自として必要なソフトがあれば導入していきたい。
質問	近岡委員（その他） ○児童、生徒の精神的な面での心配なことが出ていないか。また、学校の再開後、教職員は例年以上に忙しくなると予測されるが ICT 教育推進計画にある ICT 支援員の拡充と研修の時間はとれるのか。

回答	<p>笠松学校教育担当課長</p> <p>○児童、生徒の様子では、現在大きな心配はなく、学校として家庭環境状況は把握している。</p> <p>岡田学校教育課長</p> <p>○端末装置の導入時期は未定だが、研修時期の対応を行い、児童、生徒のために活用できるよう支援作りをしていく。</p> <p>細江教育長</p> <p>○心のケアとして、電話で生徒とコンタクトをとり、家庭での様子を聞き取る。問題があれば学校として対応をする。生徒に担任の顔を見せるために小学校はDVDの配布、中学校ではYouTubeを配信した。</p>
質問	<p>大崎委員（その他）</p> <p>○今年度中に学習内容が終わる見通しについて教えてほしい。</p>
回答	<p>笠松学校教育担当課長</p> <p>○現段階では6月再開での話となるが、夏休みは7月末までと8月後半を合わせた14日程度を利用して授業を行う。又は、6時間（低学年）、7時間授業を考えている。6月再開であれば今年度中に終わることができると考えている。</p>
質問	<p>松田委員（その他）</p> <p>○1人で自宅にいる等、不審者が立ち入らないような対策、見回り等はされているのか。</p>
回答	<p>笠松学校教育担当課長</p> <p>○配付通知には学習内容だけでなく、石川県からの家に1人での対応サンプルも配付している。家庭訪問は控えているが、近くまで回ることは行っている。</p>
意見	<p>大崎委員（その他）</p> <p>○コロナ差別0ゼロの町宣言をしているが、学校再開で差別のようなことがないよう指導を徹底してほしい。</p>
回答	<p>笠松学校教育担当課長</p> <p>○咳をしている児童等に対する差別等がないよう指導していく。</p> <p>細江教育長</p> <p>○学校では差別を絶対に許さないこととする。</p>

意見	市村委員（その他） ○社会的距離として1メートルから2メートルの距離をおいて授業をする方向で話をしているかと思うが、距離を確保した形で対応していけるのか。
回答	笠松学校教育担当課長 ○現在、中学校では全学年3クラスあり、1学年を登校日とするとフロアに約100人集まることになるが、1組の登校日とすることでフロアには約30人となる。さらに約30人を2クラスに分けることを検討している。小学校に関しては机を離せば比較的1メートル以上離すことは可能。距離については指導していく。

閉 会 午前10時19分